

第 15 回年次大会 研究発表 募集要項 (Call for Papers)

2023 年 7 月 31 日
日本海洋政策学会
年次大会実行委員会

新型コロナ感染拡大を受け 2020 年からの 3 年間はオンライン開催を行ってまいりましたが今年度は学会員皆様が一堂に会し、対面で海洋政策に関する様々な議論を活発に行なう大会として開催いたします。

- 開催日時：12 月 2 日（土） 9：30 開始予定
- 会 場：東京大学小柴ホール（東京都文京区本郷）＋ハイブリッド併用（予定）
- プログラム：基調講演、口頭発表、ポスター発表、パネルディスカッション、
学生小論文表彰式

学会員の皆様から以下の通り研究発表ならびにポスター発表の募集を致しますので、奮ってご応募下さいますようお願い致します。

【開催の趣旨】

令和 5 年 4 月、第 4 期海洋基本計画が閣議決定された。そこでは今後の海洋政策の方向性として「I 総合的な海洋の安全保障」と「II 持続可能な海洋の構築」という二つの支柱が立てられている。特に、第 3 期基本計画に引き続いて支柱とされた「I 総合的な海洋の安全保障」には、近年の社会的・自然的なリスクの増大も反映した多様な課題が含まれている。領海・EEZ 等における国益確保や、海洋熱波・津波・高潮などの自然災害対策、海上での事故・感染症対策、安定的な海上輸送の確保や国際的海洋秩序の維持、水産資源を中心とした食料安全保障や、経済的安全保障にかかわる鉱物資源開発、さらには海洋におけるエネルギー安全保障の向上など、まさに様々な海の利用形態と課題に即した総合的分析が求められている。よって本大会では、「総合的な海洋の安全保障」を取り上げる。第 3 期基本計画からの発展と継承、現在の共通認識、そして今後の課題、そこで必要とされる科学的知見等についての議論を行いたい。文理をまたがる幅広い学術分野からの発表を歓迎する。またパネルディスカッションでは、特に「海底」という場に焦点を絞り、様々な専門分野の論者を招聘して、総合的な海洋の安全保障に関する具体的かつ学際的な議論を行う。

1 テーマ、タイトル等

海洋基本法および第 4 期海洋基本計画や「国連の持続可能な開発目標 (SDGs)」に関連したテーマを中心に、日常の学術的な研究を基礎におきつつ、総合的な海洋政策の形成を視野においた提言的な論文を求めます。個別学会では取り上げられにくい提言や大学院生などの論文も歓迎します。

今回の年次大会は、統一テーマ『総合的な海洋の安全保障とは：第4期基本計画を読む』で実施いたしますが、研究発表は、必ずしもこれにこだわる必要はありません。

また、発表の時点で日本海洋政策学会の会員であることは必ずしも要しません。なお、発表申込の有無にかかわらず、この機にご入会いただくようお願い申し上げます。

参考：パネルテーマ『海底の安全保障』

2 研究発表（口頭発表 15 分、質疑 5 分：予定）

(1) 形式、文字数等

研究発表に応募する場合は、応募フォーマットを利用して**アブストラクト**を提出してください。アブストラクト本文原稿は、日本語（または英語）で、A4判、横書き、1,000字以内、図表類は字数に含まず1点まで。Word形式で、フォント、行数および1行の字数は適宜、設定してかまいません（例：40字×25行で1,000字に相当）。

(2) 応募フォーマット記入要領

- ・タイトル
- ・発表者の氏名（漢字にはふりがなを付ける。連名の場合は、発表予定者を第1執筆者として表記）
- ・所属および職名
- ・連絡先（電話番号およびe-mailアドレス）
- ・発表希望 口頭発表かポスター発表を選択

(3) 応募資格

年齢、性別、住所（居住地）、国籍、本学会の会員・非会員を問いません。ただし年次大会での発表時の通訳等は準備しておりません。

(4) 提出方法

9月15日(金)12:00必着で、**Word原稿**を添付ファイルで下欄記載の日本海洋政策学会事務局にメールにて提出してください。

(5) 採用審査及び発表

採用審査は、アブストラクト審査方式とします。第15回年次大会実行委員会に設置する審査委員会で、アブストラクトを審査し、10月中旬までに審査結果を本人に通知するとともに、採択分については開催前に公表予定のプログラムに掲載します。

採択分については、提出アブストラクトに基づき、当日発表用のプレゼン資料を別途、準備していただきます（発表要領は採択通知以降に別途通知します）。

またアブストラクトを参考に予稿集用の原稿を作成いただき参加者に事前配布いたします。

(6) 複数応募について

発表者としての応募は、一人1件まで、ただし共同著作名での複数応募は可。

3 ポスター発表（発表及び意見交換含め30～40分：予定）

今回会場ロビーにてポスター・セッションを行いますので、ポスター発表も同時に募集をいたします。ポスター発表に応募の場合も、研究発表と同様に、**アブストラクト**（上記2参照）を提出していただきますが、ポスターに収録予定の要約文や図表類等を中心とした内容でも結構です。提出方法や採用審査・発表等は上記研究発表と同じです。（※切り注意）

採択された場合は、基本A0サイズ1枚に、冒頭にタイトル、次行に発表者の氏名・所属等を記載し、発表内容の要旨を集約し作成提出していただきます。

提出された資料（アブストラクトもしくはポスター）を利用し予稿集用原稿を作成いただき参加者に配布いたします。

ポスター発表は年次大会当日掲示板にご自身で貼り出し、最終プログラムで”コア・タイム“の指定がなされた場合には、ポスター発表者はその時間帯は必ずポスター前で閲覧者との対応をするようにしていただきます。

なおご都合で発表に来場できない場合は事務局がポスター貼りを代行します。

ポスター発表に関しては詳細を別途、通知します。

4 審査による発表形式の変更について

審査により採択された場合、ご希望の発表形式からの変更のお願いもありますのでご了解ください。（例：口頭発表からポスター発表への変更、またその逆）

5 発表方法について

基調講演、研究発表等全プログラムはすべて会場で行う予定です。

ただしハイブリッド併用での開催の場合、研究発表については会場もしくはオンラインからの発表とします。（10月初に発表方法をお知らせします）

6 費用その他

発表に関する応募費用はかかりませんが当日の参加費が必要となります。

またポスター発表者来場できずポスター掲示のみも参加費が必要となります。

<本件に関する問い合わせ先およびアブストラクト等提出先>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 笹川平和財団ビル6階

日本海洋政策学会事務局

E-mail : office@oceanpolicy.jp URL : <https://oceanpolicy.jp>

注：事務局の会議等やテレワークによる不在でご不便をお掛けする場合がありますのでメールでお問合せ下さい